

ヒメコケシノブ

Hymenophyllum coreanum Nakai
コケシノブ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

亜高山の樹幹や岩石に生育する。日当たりのよい所にあり、乾燥すると縮れやすい。

分 布

全国分布は本州、四国、九州。県内分布は大野市、南越前町、越前町。

種の特徴

常緑性で葉は小さく、ホソバコケシノブに似る。葉柄と葉身はほぼ同長で翼があり、3回羽裂する。乾燥すると葉が縮れて裂片が圧縮される。

生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、中池敏之 (1982)、杉本順一 (1979)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○	○								○	

オウレンシダ

Dennstaedtia wilfordii (T.Moore) H.Christ ex C.Chr.
コバノイシカグマ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

石灰岩が分布する地域に生育することから、分布が限定されている。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は、大野市、福井市。

種の特徴

夏緑の小型のシダ。葉柄の長さは5～20cmで、葉身は2回羽状複葉で長さ10～30cm。羽片は広卵形で短い柄がある。孢子嚢群は羽片の先端につき、包膜はコップ状である。イヌシダに似るが、イヌシダより毛が少ない。

生育を脅かす要因

石灰岩のすき間に生育するために、道路工事等で減少している。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1987)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	○

マツザカシダ

Pteris nipponica W.C.Shieh
イノモトソウ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で知られている生育地は5箇所。個体数は少ないが、採取圧は少ないため絶滅危惧Ⅱ類より要注目種とした。

分 布

全国分布は本州（宮城県以西、日本海側で本県は北限）～九州まで。県内では嶺北地方に2箇所、嶺南地方に3箇所生育。

種の特徴

常緑性のシダ類。オオバノイノモトソウに似るが、側羽片は2対前後と少ない。やや鎌形に曲がる。羽軸を中心に白い斑が入るが入らないものもある。山麓のやや日の当たる崖や林縁に生育。

生育を脅かす要因

開発、森林伐採、道路改修。

参考文献 岩槻邦男編 (1992)、中池敏之 (1992)、渡辺定路 (2003)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○			○									○